

RACING PROGRAM

中山競馬場・京都競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.12.21

中山大障害 [J・GⅠ]

阪神カップ [GⅡ]



未来へ、走り続ける。



有馬記念 オルフェーヴル



JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

前日発売

有馬記念 [GⅠ]

有馬記念(GI)(第69回グランプリ)

発走15時40分 2500m(芝・右)Aコース使用

このカラー版出馬表の内容は12月20日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing horse names, jockeys, past performance, and race details for the Arima Kinen (GI) race. Includes columns for horse number, name, jockey, past performance, and race results.

※ブレレーティングは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となります。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

オルフェーヴル

32,585票



2013年 有馬記念 (GI)

金色の怪物、圧巻のラストラン

まさに万感の思いをこめて、金色の怪物は中山の直線を疾走した。

デビュー戦では快勝直後に鞍上を振り落として放馬した。東日本大震災の影響により東京競馬場で実施された皐月賞、不良馬場の日本ダービーに続き、菊花賞も制して史上7頭目の三冠を達成したが、直後にまたしてもゴール後に止まらず騎手を振り落とした。その年は勢いそのままに有馬記念も制し、JRA賞年度代表馬に輝いた。

4歳初戦の阪神大賞典では3コーナーで外に膨れるロスからの2着。天皇賞(春)は1番人気で11着と惨敗するも宝塚記念は圧勝。渡仏し、フォワ賞を制して迎えた凱旋門賞では、勝利を目前にしながら内に切れ込んで失速し、ゴール寸前で地元の伏兵ソレミアに差されるまさかの結末。帰国後のジャパンカップも、ジェンティルドンナとの一騎打ちの末に競り負けてしまった。

5歳となった2013年は、産経大阪杯完勝から宝塚記念を目指すも、肺出血で直前に回避するアクシデント。再び渡仏し、フォワ賞の連覇から挑んだ凱旋門賞では、トレヴの豪脚の前に再び2着と敗れた。

そして迎えたのが、引退レースとなる有馬記念。約3年半にわたった波乱万丈の競走生活の最終章だった。

後方集団を追走していたオルフェーヴルが、勝負どころから上昇を始めた。他の馬たちの手が激しく動く中、ほとんど持ったままで外から上がっていく。あっという間に先頭に近づき、並びかけながら直線へ。独走劇の始まりだった。一瞬にして後続を置き去りにしてひた走るオルフェーヴル。最後はウインバリアシオンとゴールドシップの2着争いに8馬身もの差をつけてゴール。まさに大団円だった。

種牡馬入り後も、初年度のラッキーライラック、エポカドーロを皮切りにマルシュロレーヌ、ウシュバテソーロなどさまざまなジャンルの活躍馬を輩出。現役時代と変わらず、ファンに驚きと興奮を与え続けているオルフェーヴルは、2015年、顕彰馬に選出されている。

有馬記念 (GI) (第58回グランプリ)

2013年12月22日 中山競馬場 2500m(芝・右) 晴・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	オルフェーヴル	牡5	57	池添 謙一	池江 泰寿	2:32.3	①	13 13 12 2
2	ウインバリアシオン	牡5	57	岩田 康誠	松永 昌博	8	④	9 11 12 4
3	ゴールドシップ	牡4	57	R.ムーア	須貝 尚介	1 1/2	②	12 11 8 4

有馬記念 (GI) (第56回グランプリ)

2011年12月25日 中山競馬場 2500m(芝・右) 晴・良 13頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	オルフェーヴル	牡3	55	池添 謙一	池江 泰寿	2:36.0	①	11 10 8 5
2	エイシンフラッシュ	牡4	57	C.ルメール	藤原 英昭	3/4	⑦	5 5 6 5
3	トゥザグローリー	牡4	57	福永 祐一	池江 泰寿	クビ	⑨	8 7 10 8

オルフェーヴル Orfevre

2008年5月14日生 牡 栗毛

父:ステイゴールド 母:オリエンタルアート 母の父:メジロマックイーン
生産:白老・有限会社 社台コーポレーション白老ファーム
馬主:有限会社 サンデーレーシング
通算成績21戦12勝(うち海外4戦2勝)



主な勝ち鞍

- 2013年 有馬記念 (GI)、フォワ賞 (G2)、産経大阪杯 (GII)
- 2012年 宝塚記念 (GI)、フォワ賞 (G2)
- 2011年 有馬記念 (GI)、菊花賞 (GI)、日本ダービー (GI)、皐月賞 (GI)、神戸新聞杯 (GII)、スプリングS (GII)

2011年日本ダービー (GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
1位:オルフェヴル(32,585票)

2^位 **オグリキャップ** 29,351票



1990年、近走不振で「終わった馬」との論調もあった同馬が見せた伝説のラストラン。翌日の新聞にはこんな文章が。「新聞記者は恥をかけた。でも、こんな恥ならなんどかいてもいい」。88年にも勝利。

3^位 **トウカイトイオー** 24,675票



前年の有馬記念(11着)以降、骨折などの故障に見舞われていたトウカイトイオー。1年ぶりの出走となった1993年の本競走を半馬身差で制し、「奇跡の勝利」として大きな話題となった。

4^位 **ディープインパクト** 19,839票



2006年の優勝馬。「飛ぶ」と形容された走りで数々のタイトルを手中にしてきたディープインパクトが、3馬身差の勝利で有終の美を飾る。この時の単勝支持率は70.1%と圧倒的。

5^位 **キタサンブラック** 17,726票



引退レースとして出走した2017年の有馬記念を制したのが本馬。抜群のスタートから最後まで他馬の先行を許すことなく、後続を1馬身半差抑えての完封劇であった。



特設サイト